

2012年6月

ドキュメンタリー映画『真実はどこに？』

この映画は内部被曝に関する科学的な論争とベラルーシの犯罪的な現実の記録である。2001年、キエフにおけるWHOの後援によって開催された「チェルノブイリの健康への影響に関する国際会議」は、IAEA、UNSCARE、ICRPの代表者たちが顔を連ね、まさに独立系の科学者と現地の実情を知る医師達との激しい論争の舞台となった。これらの論争の真実はどこにあるのか？ そして市民は何をすべきなのか、そのことが映画を観るすべての観衆に問われている。(コリン・コバヤシ Echo-Echanges France)

原子力産業は、チェルノブイリ級の惨事に毎年耐えられる。
ハンス・ブリックス(元国際原子力機関理事)

国際社会は、チェルノブイリ事故で犠牲になった900万人を人道的に援助する義務を負っている。その負の遺産は、わたし達とわたし達の子孫、未来世代と共にある。

コフィ・アナン(元国連事務総長)



真実はどこに？ 一放射能汚染を巡ってー

監督：ウラディミール・チェルトコフ
撮影：ロマーノ・カヴァッソーニ
編集：エマニュエラ・アンドレオリ
制作：フェルダ・フィルム©
2003年 スイス カラーDV/51分

日本語制作：Echo Echanges France + リンゴ野
字幕翻訳：藤原かずみ、藤本智子、辻俊子、コリン・コバヤシ
字幕編集：岩城知子
ナレーション：東陽子

配給協力：市民と科学者の内部被曝問題研究会・医療部会
*純益はフランスのNPO<チェルノブイリ/ベラルーシの子供たち>と内部被曝問題研・医療部会<子ども救援基金>に寄付されます。

真実はどこに？ 一放射能汚染を巡ってー



ウラディミール・チェルトコフ監督作品

真実はどこに？ 一放射能汚染を巡ってー

日本語制作：Echo Echages France + リンゴ野

配給協力：市民と科学者の内部被曝問題研究会(ACSIR)/医療部会

☆純益は、フランスのNPO<チェルノブイリ/ベラルーシの子供たち>と内部被曝問題研(ACSIR) /医療部会<子ども救援基金>に寄付されます。

購入方法：

FAX:058-296-3903 または E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp へ申し込んでください。

市民と科学者の内部被曝問題研究会(ACSIR)/医療部会
部会長 松井英介